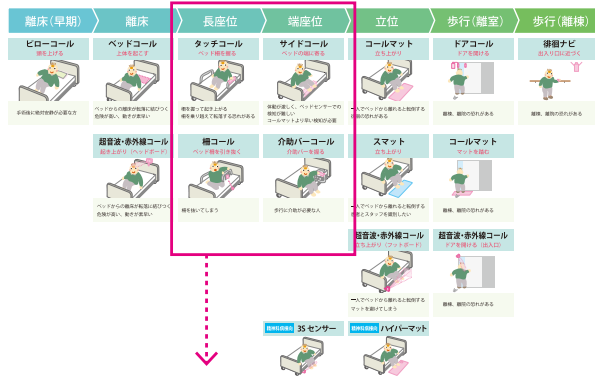




## 今月のテーマ 「座位」行動を検知する、離床センサーのご紹介

133号「患者の行動に合わせた、離床センサーの選定 2021」の中で紹介しました、【座位】行動を検知するセンサーを特集いたします。



### 長座位

### 端座位

ベッド柵を握って起き上がる患者を対象としたセンサー

ベッド柵を取外してしまう患者を対象としたセンサー

転倒リスクが高く早めの報知が必要な患者を対象としたセンサー

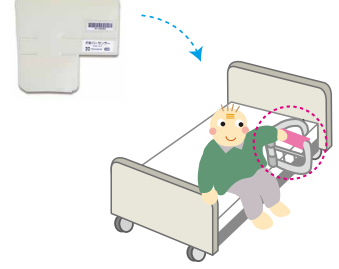
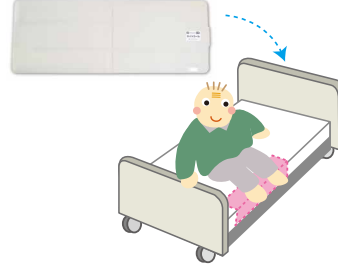
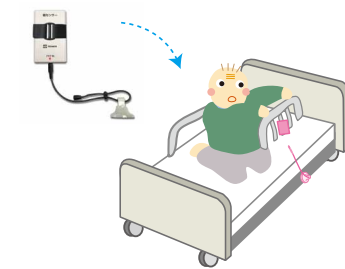
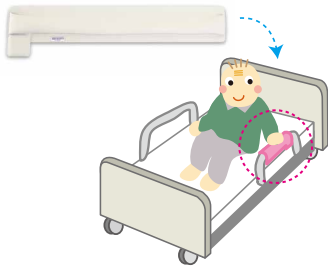
歩行に介助が必要な患者を対象としたセンサー

#### タッチコール

#### 柵コール

#### サイドコール

#### 介助バーコール



ベッド柵を握るとお知らせ

ベッド柵を引き抜くとお知らせ

ベッドの端に寄るとお知らせ

介助バーを握るとお知らせ

特長

・ベッド柵に被せて設置

※詳しくは、今月号の“教えて相談室”をご覧ください！

・ベッド柵とベッドフレームにセンサーを設置

・シーツの下に設置するので患者に気づかれにくい

・介助バーに被せて設置

※詳しくは、今月号の“教えて相談室”をご覧ください！

対象

ベッド柵を越える、取外す方  
転倒の危険があり、歩行に介助が必要な方

ベッド柵を取外す方

転倒の危険があり、歩行に介助が必要な方  
寝返りや体動が激しく、ベッドセンサーでは検知が難しい方

転倒の危険があり、歩行に介助が必要な方  
介助バーを握り立ち上がる方

不向き

× ベッド柵を頻繁に握る方

特になし

× 日中、端座位で過ごす方  
× 体圧分散マットレス  
× エアマット

× 介助バーがないベッド

ベッド柵を握りながら、起き上がる患者には確実に動きをキャッチできています！

A病院 内科

入院時、環境の変化からかベッド柵を引き抜く患者があり、柵センサーを使用しています。

B病院 精神科

コールマットやベッドセンサーが適合しない患者に使用しています！

B病院 内科

介助バーセンサーを目印にしてここを握って立ち上がってねと患者に伝えています！

N病院 リハビリ